

2018/10/04(木)20:42

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
25877	コンピュータプログラミング1 a	Computer Programming I	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2018年度 後期	金曜3限	講義および演習	今野 英明
科目区分	<p>専攻科目 (国際協働グループ) 異なる国や民族・地域・文化・社会をつなぐ国際協働の現場において必要となる、グローバルな実践的課題解決能力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域政策グループ) 地方行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団や企業などとの多様なネットワークを構築する能力と、地域の課題解決に取り組む実行力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域環境科学グループ) 地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身につけ、さらに、新たな知識・技能を主体的に学び続けようとする態度、探究力、批判的な思考力などを身につけることを目的とする。</p>		
授業概要	コンピュータ・プログラミングの初心者を対象として、C言語を用いたプログラミングの基礎的内容の講義とUNIX上での演習を行う。		
対応するディプロマ・ポリシー			
到達目標	変数とデータ型、制御構造および関数呼び出しについて理解し、自力でアルゴリズムを考えて短いCプログラムを書けるようになること。よいプログラミング作法を身に付けること。		
授業計画	<p>第1週: 授業内容の紹介とプログラミング環境</p> <p>第2週: プログラムの作成と実行</p> <p>第3週: 簡単なCプログラム1(テキストの印字)</p> <p>第4週: 簡単なCプログラム2(算術計算)</p> <p>第5週: 制御構造とif選択構造</p> <p>第6週: if/else選択構造</p> <p>第7週: switch多重選択と論理演算子</p> <p>第8週: while反復構造</p> <p>第9週: 算術代入文とfor反復構造</p> <p>第10週: 入れ子構造とdo/while反復</p> <p>第11週: break, continueと構造化プログラミングのまとめ</p> <p>第12週: データ型(文字,整数と浮動小数点数)</p> <p>第13週: 浮動小数点数の利用</p> <p>第14週: 関数の概要と関数呼び出し</p> <p>第15週: 試験</p>		
成績評価	<p>期末試験の成績(60%-70%)とプログラミング課題の提出状況と内容(30%-40%)により評価する。</p> <p>ただし、試験結果が合格点に達しない場合には、出席や課題の提出状況にかかわらず、授業は不合格とする。</p> <p>やむを得ぬ理由がある場合を除き、欠席する毎に評価から減点する。</p>		
教職チェックリスト	<p>学習指導力</p> <p>それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域(科目)で求められる基礎的あるいは専門的な知識や技能を発達段階・学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。・専門領域(科目)で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域(科目)の様々な事象に対する関心や意欲を育む。・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基本的な技能を習得する。・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。・研究についての基本的事項を身につけ、研究の成果を発表する。</p>		
テキスト	<p>指定しない。</p> <p>web上に資料を用意する。</p>		
参考文献	<p>「かんたんC言語」大川内隆朗, 大原竜男(技術評論社)</p> <p>「やさしいC」高橋麻奈(SBクリエイティブ)</p> <p>「情報処理技術者テキスト プログラミング入門C言語」財団法人日本情報処理開発協会 監修(実教出版)</p> <p>「スッキリわかるC言語入門」中山清喬(インプレス)</p> <p>「プログラミング言語C第2版」B. W. カーニハン, D. M. リッチー 著(共立出版)</p> <p>「C言語プログラミング」H. M. ダイテル, P. J. ダイテル(ピアソンエデュケーション)</p>		
オフィス・アワー	月曜日・5時限・研究室(メール予約があれば随時)		
関連する授業科目	情報機器の操作		

備考（履修上の注意等）	事前連絡なしに初回授業を欠席しないこと。 履修にはキーボード入力（英数字）を不自由なく行えることが必要。 各種資料や演習問題，連絡事項を http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/db/800/ に掲載する。
-------------	---